



はじめての 万葉集

いそのかみふる

和歌集『万葉集』を
わかりやすくご紹介。

Vol. 4

石上布留の神杉

かむすぎ



恋に年齢は関係ない、といいます
が、皆さんはどう思いますか。
幼ければ幼いなりに、年齢を重ね
た人にはそれなりに、人を恋しく
思ふ気持ちは生まれるように思
います。しかもそれは、あるとき
突然やつてくるもののがあります。
この歌では、「恋に逢ひにける」
と、思いがけず恋といつものに出
会つてしまつたとあります。しか
も「神びにし」とは神々しく人間
離れした、恋とは眞逆の状態をい
います。つまり、久しく恋とは無
縁の生活を送つていた年を取つた
自分が、また恋に出会つてしまつ
た、というのです。若い頃は多く
の恋もしたけれど、今になつてま
たこんな恋をするなんて、ととま
どいつも新鮮な感動を味わつた
のかもしれません。

いそのかみふるかむすぎ
石上 布留の神杉 神びにし

われやむりむり 恋に逢ひにける

作者 未詳 (巻10九一七番歌)

(石上の布留の神杉のように神々しく年を取つて)
(しまつた私が、またまた恋に逢つたのかなあ。)

(本文万葉文化館 井上さやか)

そうした、みずみずしい恋の驚
きを導く表現として「石上布留の
神杉」が詠まれています。「神杉」
と「神びにし」と同じ音を重ねる
ことで、つながりが生まれます。
「石上」といえば、石上神宮が
有名です。周辺には現在も「石上
町」や「布留町」という地名が残っ
ています。石上神宮は『日本書
紀』にも登場する最古の神社の
一つで、この歌でも、石上神宮の
境内にあつた神聖な「神杉」だか
らこそ「神び」にかかる象徴的な
表現として相応しかつたようだ
す。よく似た歌に「石上布留の神
杉神さびて恋をもわれは更にす
るかも(巻11一四)七番歌があり
ます。ほぼ同じ意味ですから、よ
くうたわれていたのかもしれません。

せん。

今もご神木の杉が神々しく

境内にそびえています。

答えは来月号を見てね

昔々、一人の娘が川で布を洗つ
いると、流れてきた光輝く鉾が、布
に絡りました。驚いた娘は、川の
ほとりにその鉾を立て、お祭りを欠
かさずに行いました。そのおかげ
で、人々は平和な生活ができたとい
います。その後、鉾も朽ち果てたの
で、その地に鉾先を埋めて祀りました。
すると、間もなくその地に杉が
芽生え、天をもさすほどに成長しま
した。今も、石上神宮に伝わる神杉
の伝説ですが、この下に鉾先が埋
まつているのかもしれません。

いそのかみかむすぎ
石上神宮の神杉

昔々、一人の娘が川で布を洗つ
いると、流れてきた光輝く鉾が、布
に絡りました。驚いた娘は、川の
ほとりにその鉾を立て、お祭りを欠
かさずに行いました。そのおかげ
で、人々は平和な生活ができたとい
います。その後、鉾も朽ち果てたの
で、その地に鉾先を埋めて祀りました。
すると、間もなくその地に杉が
芽生え、天をもさすほどに成長しま
した。今も、石上神宮に伝わる神杉
の伝説ですが、この下に鉾先が埋
まつているのかもしれません。

Q 歌にも詠
まれている
「布留」という地名の由来は
何でしよう?



クイズ
②元興寺でした。
590年頃に切
られた檜を使つ
ているんだって。

- ①上流から流れてきた
劍が布で止まつたから
②上流から流れてきた
杉が布で止まつたから
③上流から流れてきた
桃が布で止まつたから